

---

# 2017年度第3四半期 決算説明会資料

---

2018年2月6日

**日新製鋼株式会社**

# 2017年度第3四半期 決算の概要



# 2017年度第3四半期決算

## 概況

- ✓ 当第3四半期の連結売上高は4,600億円、連結経常利益は175億円と、対前年同期比で783億円の増収、152億円の増益。
- ✓ 企業収益の回復を背景とした設備投資の増加などにより、国内の鋼材需要は堅調に推移、海外の鋼材需要も先進国を中心に好調に推移する展開となった。
- ✓ 堅調な鋼材需要を背景に、原料価格上昇にともなうコストアップについて、お客様のご理解を得ながら販売価格に反映させる活動に努めた。生産面では、引き続き品質の維持向上および安定供給を最優先とすべく、操業の安定化に注力した。
- ✓ 実力ベースの経常損益については、減価償却方法変更(▲40億円)等の減益要因があったものの、グループ会社の増益等により84億円を計上。また、決算ベースの経常損益においては在庫評価益+91億円により175億円を計上した。
- ✓ ステンレスに関しては、実力ベースで27億円、決算ベースでは在庫評価益+37億円により64億円の経常利益を計上した。

# 2017年度第3四半期決算

(億円)

	No	2017年度					2016年度	差異 ① e-f	
		上期		4-12月期 (実績) e	下期 10-12月期 (実績) d	4-12月期 (実績) f			
		4-6月期 (実績) a	7-9月期 (実績) b				(実績) c		
売上高	1	1,487	1,600	3,087	1,513	4,600	3,817	783	
営業利益	2	36	103	139	31	170	57	113	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	16	77	93	18	111	78	33
	ステンレス	4	30	25	55	9	64	▲ 55	119
	計	5	46	102	148	27	175	23	152
親会社株主に帰属する 当期純利益	6	32	64	96	9	105	2	103	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	40	15	55	▲ 1	54	▲ 5	59
	ステンレス	8	20	5	25	12	37	▲ 30	67
	計	9	60	20	80	11	91	▲ 35	126

## <実力ベース>

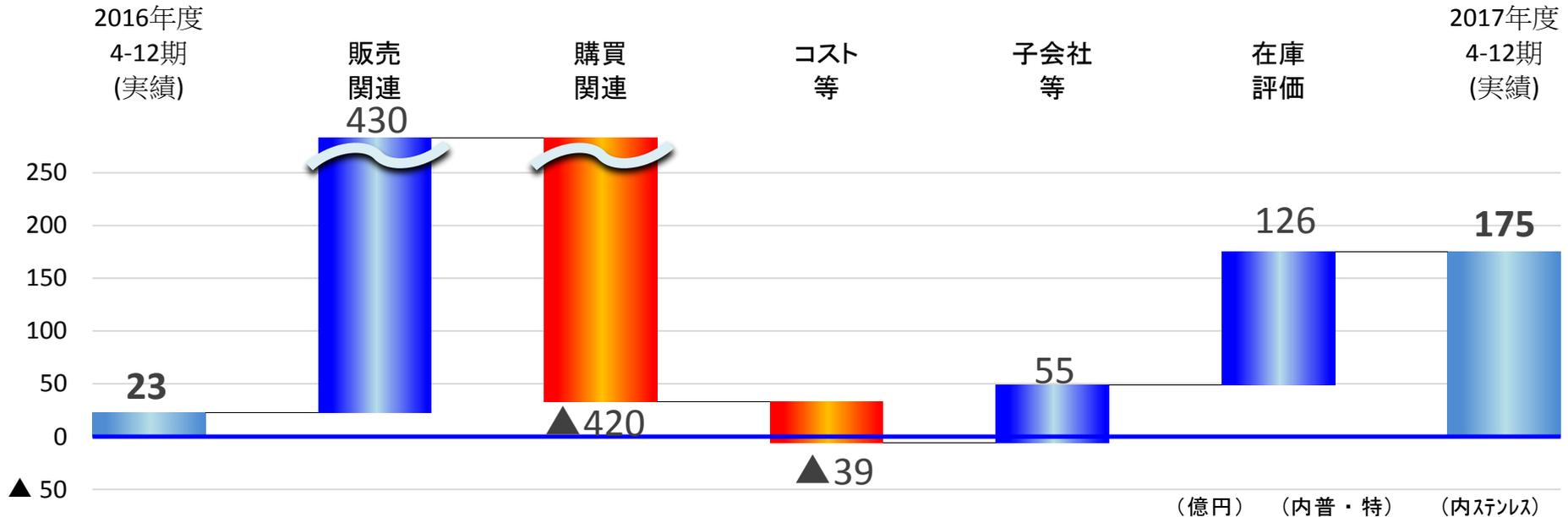
経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	▲ 24	62	38	19	57	83	▲ 26
	ステンレス	11	10	20	30	▲ 3	27	▲ 25	52
	計	12	▲ 14	82	68	16	84	58	26

# 2017年度第3四半期諸元

		No	2017年度					2016年度	差異
			上期		(実績)	下期	4-12月期	4-12月期 (実績)	
			4-6月期 (実績)	7-9月期 (実績)		10-12月期 (実績)			
			a	b	c	d	e	f	① e-f
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	72	70	142	70	212	223	▲ 11
	ステンレス	2	17	17	34	16	50	49	1
	計	3	89	87	176	86	262	272	▲ 10
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	75	76	151	75	226	225	1
	ステンレス	5	13	15	28	13	41	39	2
	計	6	88	91	179	88	267	264	3
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	126	131	128	125	128	107	21
輸出比率 (金額ベース,%)		8	16	13	14	12	13	15	▲ 2
輸出為替レート (円/ドル)		9	111	111	111	113	112	106	6

# 経常利益差異内訳

## 2016年度4-12月期(実績):2017年度4-12月期(実績)



2016年度4-12月期(実績)		23	変動要因	78	▲55
変動要因	販売関連	430	価格差 400、数量構成差 15、輸出為替差 15	290	140
	購買関連	▲420	鉄鉱石▲75、石炭▲130、ニッケル原料▲35、ケム▲60、油類▲20、輸入為替差▲50、その他▲50	▲295	▲125
	コスト等	▲39	減価償却方法変更▲40	▲26	▲13
	子会社等	55	海外関連会社等	5	50
	在庫評価	126	▲35→91 (内ステンレス▲30→37)	59	67
計		152		33	119
2017年度4-12月期(実績)		175		111	64

# 貸借対照表(2017年12月末)

(億円)

		対'17/3末		主な内訳
現預金	127	▲ 39		
売上債権	621	15		
たな卸資産	1,544	222		
その他流動資産	233	▲ 250		
有形・無形固定資産	2,952	78		有形・無形固定資産取得271
投資等	1,616	3		
<b>資産合計</b>	<b>7,095</b>	<b>31</b>		

有利子負債	2,349	▲ 100		有利子負債削減
その他の負債	2,315	▲ 36		
<b>負債合計</b>	<b>4,664</b>	<b>▲ 137</b>		
資本金・資本剰余金	1,063	—		
利益剰余金	873	102		親会社株主純利益105、配当△21
自己株式	▲ 5	▲ 0		
その他の包括利益累計額	357	53		
非支配株主持分	141	11		
<b>純資産合計</b>	<b>2,430</b>	<b>168</b>		
<b>負債・純資産合計</b>	<b>7,095</b>	<b>31</b>		

# 2017年度業績予想

## 概況

- ✓ 通期連結業績は、今後の不確定要素はあるものの、売上高は6,150億円、経常利益は180億円と、対前期比増収(895億円)増益(121億円)を見込む。
- ✓ 本業績予想は、減価償却方法の変更(▲50億円)を含んでおり、実質的には対前期で約170億円の経常利益増益となる見込み。
- ✓ 足元の急激な主原料価格上昇による販売価格への転嫁遅れや、原油等の副原料高騰によるコストの圧迫等もあり、対前回予想(10月)比で当期の実力ベースマージンは縮小する見込み。新日鐵住金との戦略共有を進めつつ、引き続きお客様のご理解を得ながら販売価格に転嫁する活動を進めていく。
- ✓ 生産面では、足下の堅調な鉄鋼需要を着実に捕捉するため、安定的な供給を最優先とした設備稼働を継続。普通鋼・特殊鋼については、慎重な操業を継続するとともに、高炉の安定化を目的とした補修等を計画に沿って進めていく。
- ✓ ステンレスについては、周南製鋼所・製鋼工程の初期トラブル影響等は解消しているものの、品質と安定供給を最優先とした生産および品質の改善活動を重視した結果、並びに新設備の償却負担等により、足元ではコスト高の状況。今後、新日鐵住金とも連携しつつ、コスト改善に尽力していく。

# 2017年度業績予想

(億円)

	No	2017年度			2016年度	2017年度	
		上期 (実績) a	下期 (予想) b	(予想) c	(実績) d	(前回予想) e	
売上高	1	3,087	3,063	6,150	5,255	6,200	
営業利益	2	139	36	175	78	190	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	93	17	110	104	125
	ステンレス	4	55	15	70	▲ 45	55
計	5	148	32	180	59	180	
親会社株主に帰属する 当期純利益	6	96	4	100	16	100	

差異		
① b-a	② c-d	③ c-e
▲ 24	895	▲ 50
▲ 103	97	▲ 15
▲ 76	6	▲ 15
▲ 40	115	15
▲ 116	121	0
92	84	0

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	55	15	70	25	55
	ステンレス	8	25	25	50	▲ 35	45
	計	9	80	40	120	▲ 10	100

▲ 40	45	15
0	85	5
▲ 40	130	20

## <実カベース>

経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	38	2	40	79	70
	ステンレス	11	30	▲ 10	20	▲ 10	10
	計	12	68	▲ 8	60	69	80

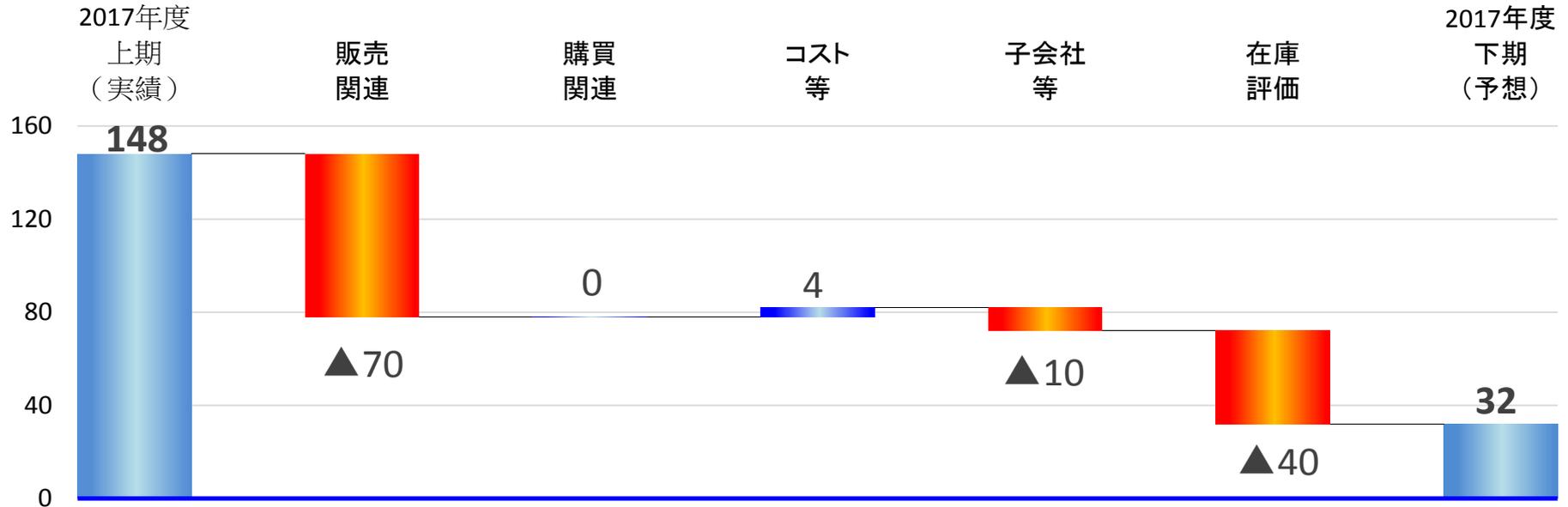
▲ 36	▲ 39	▲ 30
▲ 40	30	10
▲ 76	▲ 9	▲ 20

# 2017年度業績予想諸元

		No	2017年度			2016年度	2017年度	差異		
			上期 (実績) a	下期 (予想) b	(予想) c	(実績) d	(前回予想) e	① b-a	② c-d	③ c-e
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	142	138	280	294	290	▲ 4	▲ 14	▲ 10
	ステンレス	2	34	32	66	66	66	▲ 2	0	0
	計	3	176	170	346	360	356	▲ 6	▲ 14	▲ 10
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	151	150	301	308	307	▲ 1	▲ 7	▲ 6
	ステンレス	5	28	29	57	53	58	1	4	▲ 1
	計	6	179	179	358	361	365	0	▲ 3	▲ 7
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	128	126	127	109	126	▲ 2	18	1
輸出比率 (金額ベース, %)		8	14	13	14	15	13	▲ 1	▲ 1	1
輸出為替レート (円/ドル)		9	111	113	112	108	111	2	4	1

# 経常利益差異内訳

## 2017年度上期(実績):2017年度下期(予想)

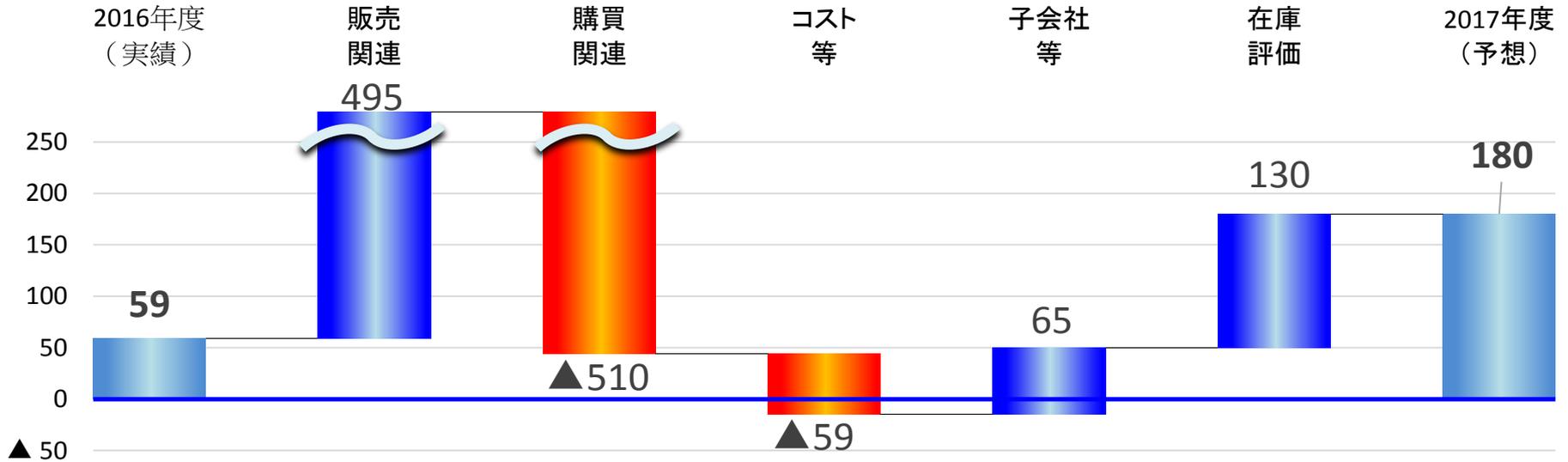


(億円) (内普・特) (内ステンス)

2017年度上期 (実績)		148	変動要因	93	55
変動要因	販売関連	▲ 70	価格差▲75、数量構成差 5	▲ 40	▲ 30
	購買関連	0	鉄鉱石 10、石炭 25、ニッケル原料▲15、焦煤 25、油類▲15、輸入為替差▲15、その他▲15	0	0
	コスト等	4		4	0
	子会社等	▲ 10	海外関連会社等	0	▲ 10
	在庫評価	▲ 40	80→40 (内ステンス25→25)	▲ 40	0
	計	▲ 116		▲ 76	▲ 40
2017年度下期 (予想)		32		17	15

# 経常利益差異内訳

## 2016年度通期(実績):2017年度通期(予想)

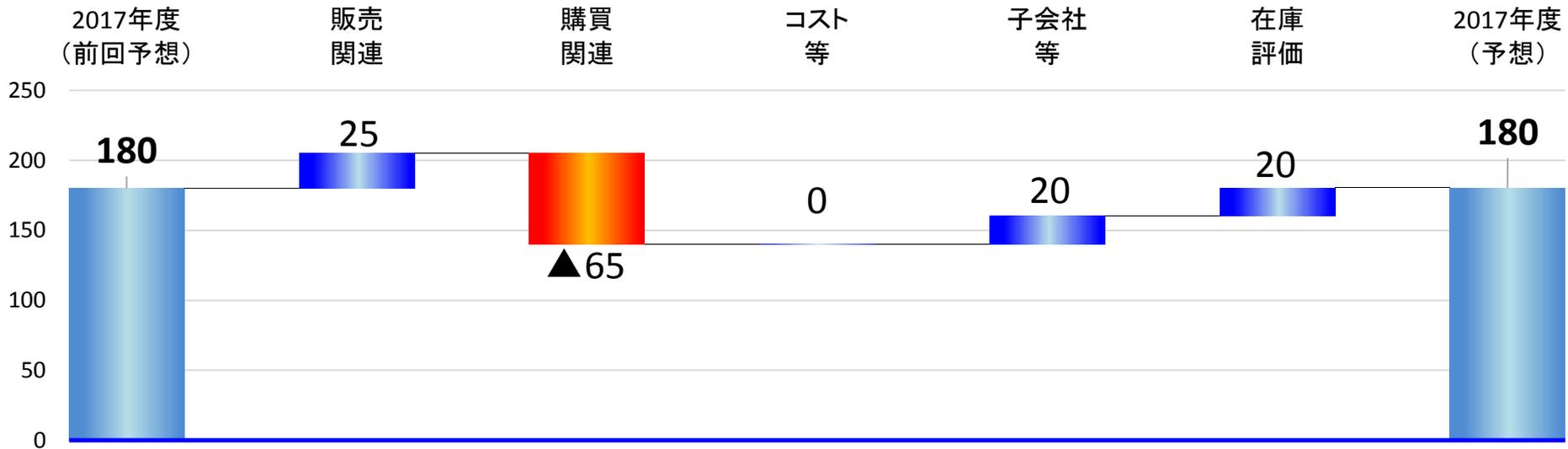


(億円) (内普・特) (内ステンレス)

2016年度通期 (実績)		59	変動要因	104	▲ 45
変動要因	販売関連	495	価格差 450、数量構成差 20、輸出為替差 25	330	165
	購買関連	▲ 510	鉄鉱石▲90、石炭▲150、油類▲35、ニッケル原料▲50、 Al▲65、輸入為替差▲65、その他▲55	▲ 335	▲ 175
	コスト等	▲ 59	減価償却方法変更影響▲50、電力単価差▲20	▲ 39	▲ 20
	子会社等	65	海外関連会社等	5	60
	在庫評価	130	▲10→120 (内ステンレス ▲35→50)	45	85
計		121		6	115
2017年度通期 (予想)		180		110	70

# 経常利益差異内訳

## 2017年度通期(前回予想):2017年度通期(予想)



(億円) (内普・特) (内ステンレス)

2017年度通期(前回予想)		180	変動要因	125	55
変動 要因	販売関連	25	価格差 30、数量構成差▲10、輸出為替差 5	5	20
	購買関連	▲ 65	鉄鉱石▲5、油類▲15、ニッケル原料▲15、ゴム 5、 輸入為替差▲20、その他▲15	▲ 40	▲ 25
	コスト等	0		0	0
	子会社等	20	海外関連会社等	5	15
	在庫評価	20	100→120 (内ステンレス 45→50)	15	5
	計	0		▲ 15	15
2017年度通期(予想)		180		110	70

# 剰余金の配当

- ◆ 期末配当については、1株当たり  
10.0円を実施予定  
(年間配当 (予定) 25.0円/株)

## 【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえた株主還元を実施する方針とする。「利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安とする。

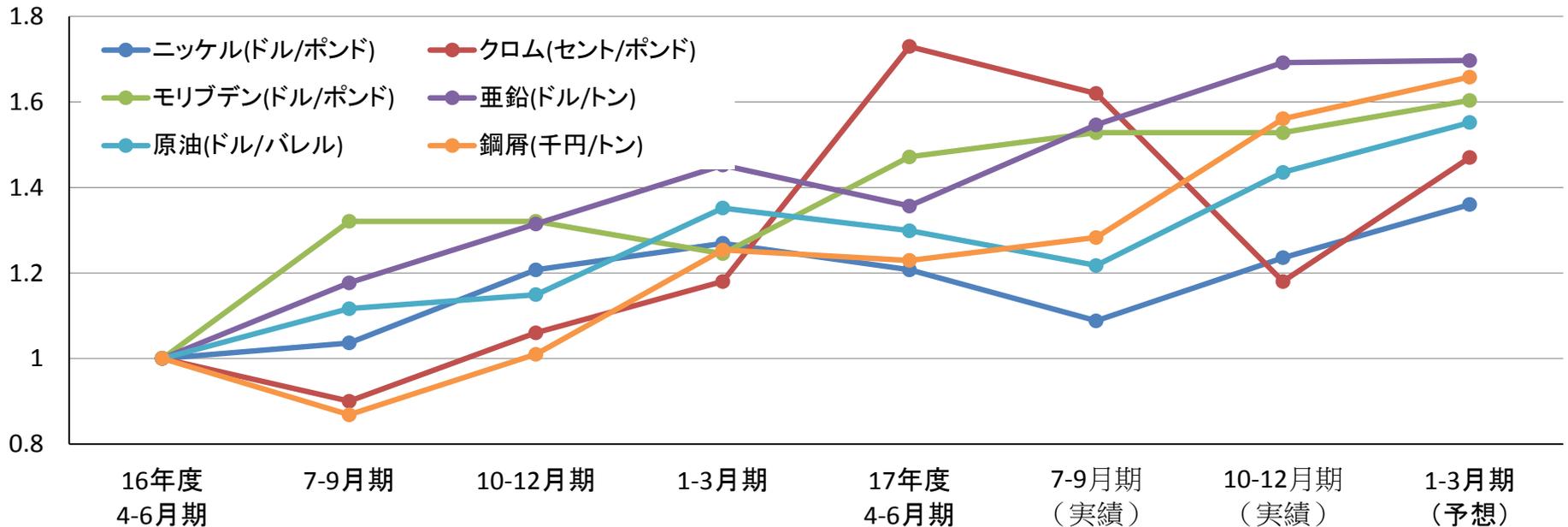
(ご参考)  
主要データ



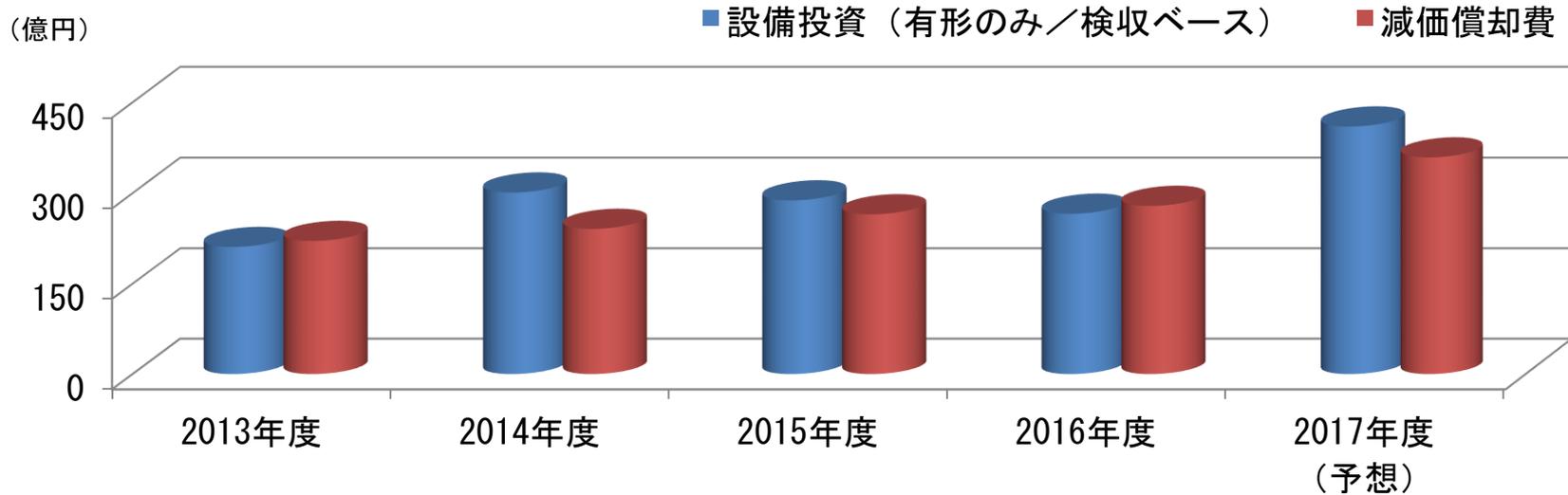
# 購買市況(適用ベース)

	2016年度							2017年度						
	上期			下期			平均	上期			下期(予想)			平均(予想)
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月(予想)	平均	
ニッケル(ドル/ポンド)	3.86	4.00	3.93	4.66	4.90	4.78	4.36	4.66	4.20	4.43	4.77	5.25	5.01	4.72
クロム(セント/ポンド)	100.0	90.0	95.0	106.0	118.0	112.0	103.5	173.0	162.0	167.5	118.0	147.0	132.5	150.0
モリブデン(ドル/ポンド)	5.3	7.0	6.2	7.0	6.6	6.8	6.5	7.8	8.1	8.0	8.1	8.5	8.3	8.1
亜鉛(ドル/トン)	1,915	2,254	2,085	2,518	2,781	2,650	2,367	2,598	2,962	2,780	3,240	3,250	3,245	3,013
原油(ドル/バレル)	39.5	44.1	41.8	45.4	53.4	49.4	45.6	51.3	48.1	49.7	56.7	61.3	59.0	54.4
鋼屑(千円/トン)	20.5	17.8	19.2	20.7	25.7	23.2	21.2	25.2	26.3	25.8	32.0	34.0	33.0	29.4

購買市況の推移 (2016年度4-6月期を1.00)



# 設備投資・減価償却費



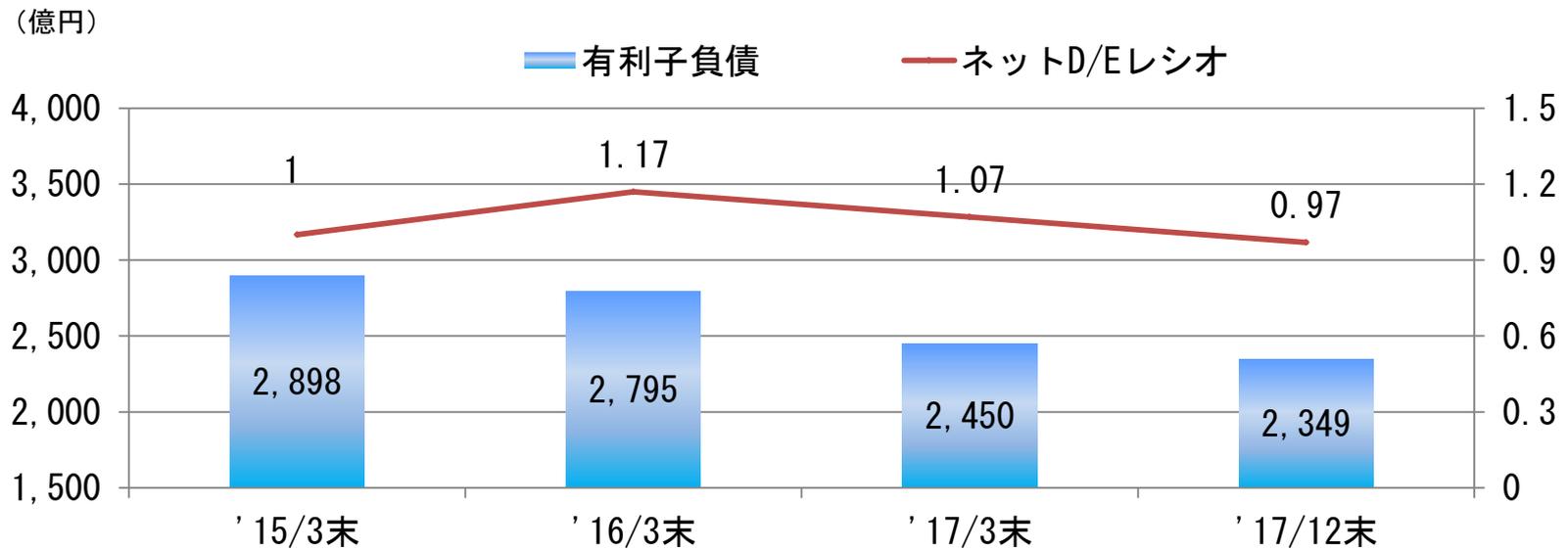
(億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度（予想）
設備投資	211	301	288	266	410
減価償却費	221	241	265	279	359

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

(注) 2017年度より、減価償却方法を定額法から定率法に変更

# 有利子負債・ネットD/Eレシオ



	'15/3末	'16/3末	'17/3末	'17/12末
手許預金(億円)	263	314	167	127
有利子負債(億円)	2,898	2,795	2,450	2,349
ネットD/Eレシオ	1.00	1.17	1.07	0.97